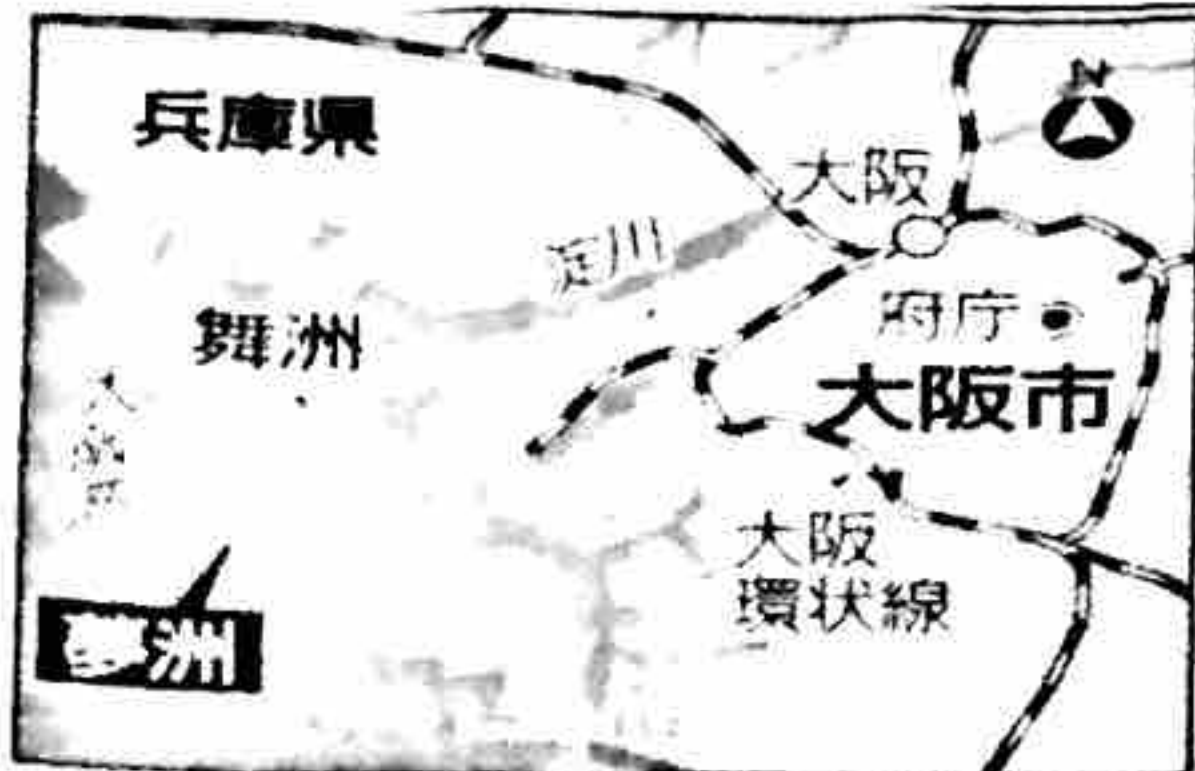


「人類の健康・長寿への挑戦」

大阪府は16日、誘致を目指す2025年の国際博覧会（万博）の構想試案を公表した。メイン会場は、大阪湾の人工島・夢洲（大阪府此花区）を想定。「人類の健康・長寿への挑戦」をテーマに掲げる。05年の愛



大阪万博構想試案の主な項目

開催期間	2025年4～10月
参加国	150カ国・機関
来場者目標	3000万人以上
会場建設費用	1500億～1600億円
運営費用	約800億円
経済波及効果	約6兆円

知万博（2200万人）を超える3千万人以上の来場者を目指とする。月内に発足する有識者会議での議論を踏まえて、秋ごろまでに最終案を取りまとめる方

夢洲で大阪万博 来場3000万人狙う

針。

松井一郎知事は同日午後、東京都内で林幹雄経済産業相、塩崎恭久厚生労働相とそれぞれ会談し、誘致実現への協力を求めた。松井知事は「2人とも良いテーマだと言ってもらえた。非常に前向きな返事だ」と手応えを強調した。

府の試案では、開催期間を25年4～10月とし、150の国・機関に参加してもらう。

夢洲へのアクセス向上のため、大阪市営地下鉄の延伸も検討する。

会場建設費用を1500億、1600億円程度、運営費用を約800億円と試算し、国全体への経済波及

効果を約6兆円と見込む。

今月末に発足する会議には、この日松井知事が両大臣に打診したのを受けて、厚労省や経産省の職員も加わる見通し。有識者では、元五輪マラソン代表でスポーツライターの増田明美さん(52)やオリックスの宮内義彦シニア・チエアマン(80)らに参加を打診している。

「協力惜しまず」

関西同友会・蔭山氏

関西経済同友会の蔭山秀一代表幹事（三井住友銀行副会長）は16日、大阪市内で開いた定例会見で、大阪

夢洲は大阪の中心部から比較的近く、周辺の交通整備が進めば、府・大阪市が誘致を目指しているカジノを含む統合型リゾート（IR）の実現に弾みがつくと期待もある。

試案では夢洲を想定したが、ほかに6カ所が会場の候補に挙がっており、府は今後、有識者会議の議論などを踏まえて決定するとしている。

府が誘致を目指す万博について「スケジュールや資金、会場整備などの面でハードルが高い。それらをクリアできるなら歓迎すべきことで、協力は惜しまない」と語った。